



令和5年9月29日
中城みなみ保育園・幼稚園
担当 渡慶次



暑い日が続きますが、朝夕は涼しく感じ始めました。一日の気温差が激しく、乳幼児は自分で体温調節するのがまだ難しいため、いつ間にか風邪をひいたり体質によって喘息を起こしたりします。咳や鼻水など、お子様の様子に気をつけ体調管理をしていきましょう！



目の愛護デー

10月10日は「目の愛護デー」です。

『10』を2つ並べて横にした時に眉と目に見えることから名付けられました。前髪が顔にかからないようにしたりして目に優しい生活を心がけましょう！

子どもに多い目の病気

物貰い

汗を分泌している感染に細菌が入ったりすることで、炎症を起こしたり化膿した状態です。瞼が赤く腫れたり、痛んだり、目がゴロゴロします。感染力が弱く、感染する危険性は大きくありませんが、全身の抵抗力が落ちた時にもものもらいができることがあります。

さかさまつげ

子どもは瞼が厚いためまつ毛が内側を向いてしまい眼球の表面に触れることがあります。成長とともに瞼が薄くなることに伴い、まつ毛も自然に外側をむいて治ります。

☆けが、異物混入

目に物が入った、目を傷つけた、目に刺さった、洗剤が入った、目の表面や周囲に汚れがついている場合は、すぐに水で洗い落とす。

眼球に大きな傷がある場合は無理に目を開かずに、周りの汚れを軽くふき取る。目は押さえつけない。

出血している場合は、きれいなタオル等で瞼の上から軽く当ててください。

必ず医療機関は受診してください

子ども視力は6歳でほぼ発達します。乳幼児期のトラブルで視力の発達がうまくいかなかった場合、その後に視力を伸ばすのは難しいことがあります。

救急外来を受診する人

- ・目に異物が入って痛む
- ・目にもものが当たった

眼科を受診する人

- ・光をまぶしがる
- ・白目が黄色い
- ・黒目が目の端に寄る
- ・斜めや近くでものを見おろ

小児科を受診する人

- ・黄色い目やにが出る
- ・頻繁に目を掻く
- ・目が充血している

